



学校だより

令和4年度 第2号
令和4年4月28日発行
千葉市立高洲第三小学校

「でも先生は休み時間に遊んでくれるよ」－ 親子の会話が子どもを育てます－

校長

学校が始まって1か月。「あのね、今日学校でね…」子どもたちはたくさんのニュースを家に持ち帰ってきます。その時に親はどのように対話していけばよいのでしょうか。

1. 共感的に聞く

どのような内容であれ、まずは「共感的」に聴きましょう。

子どもの気持ちが大きく動いているときは、話が前後することや、誰の事なのかわかりにくいことがあります。そのようなときには「それって、〇〇だったってことだね」「そんなことがあったら、私もうれしいな」と子どもの話を整理するように「オウム返し」できれば最高です。

2. すぐアドバイスしない

子どもが、友達や担任について愚痴や不満をいうこともあります。その際「大丈夫、大したことじゃないよ」「あなたが〇〇君にやさしくしないからでしょう」「先生はあなたのために言ってくれているのでしょ」などと、すぐに「励まし」や「アドバイス」をしてはいけません。親が「そうなんだ、それはイヤだね」「わかってほしかったんだね」などと共感的に聞くことで、子どもは自分の中にたまっていた不満を外に出すことができます。子どもは、友達や先生を悪く言うのはよくないことだとわかっています。アドバイスや励ましは、共感的に聞いた後にするとよいでしょう。

3. 共感と同調は違う

「共感的に聴く」と「安易な同調」とは違うことに気を付けなければなりません。

「そうなんだ。〇〇君は嫌な子だね」「そうなんだ、あの先生のことはAさんのお母さんも嫌いって言ってたよ」このように言ってしまうと、子どもには誤ったメッセージが伝わります。

- ・気に入らなければ、友達の悪口は言ってもいい

- ・あの先生はよくない先生なのだから、指導を受け入れなくてもいい

このように安易な同調は、子どもの気持ちを和らげるどころか、より否定的な感情に誘導しかねません。受け止めた後、「どうしてそう感じたの」「その前にあったことは何？」などと質問をして会話を掘り下げてみてください。すると子どもは「僕も嫌なことを言っちゃったんだ」「でも先生は休み時間に遊んでくれるよ」などと自分で気持ちに折り合いを付けられます。

さあ、今日はどんなニュースを伝えてくれるでしょう。保護者の皆さんの受け止め方次第で子どもたちは安心して成長できます。私たちは連休中のニュースを待つことにいたしましょう。

◎ ホームページやおたよりにお子様が掲載されることがあります

学校だよりや学年だより、保護者会の広報誌等を通じて児童の活動の様子をお知らせしています。
お子様の氏名や写真の掲載についてご承諾ください。

ご承諾いただけない場合のみ、学校までご連絡ください。 (担当:教頭 関屋)

※児童氏名は掲載せず、ホームページに写真を掲載する場合は、個人が特定できないように加工します。

◎ 短縮日課の下校時刻が変わります！



※詳しくは、「学年だより」「学校だより」をご覧ください。

◎ 5月のカウンセリング予定日

11日(水) 13:00~16:00

18日(水) 9:00~12:00

25日(水) 13:00~16:00

※相談のご希望・予約は、担任、教頭まで

《 運動会の実施予定 》 詳細は、後日別紙にてご案内いたします

28日(土)	29日(日)	30日(月)	31日(火)
晴天 実施 お弁当   	やすみ	振替休業 やすみ	通常授業 
雨天 やすみ 	晴天 実施 お弁当   	振替休業 やすみ	通常授業 
雨天 やすみ 	雨天 授業 お弁当   	振替休業 やすみ	晴天 実施 給食   